

事業者名					社会福祉法人：〇〇〇〇〇〇〇〇 代表者名：理事長〇〇〇〇 所在地：滋賀県大津市〇〇町〇番〇号		
提案概要					サービス種別：〇〇〇〇 定員：〇〇名 計画地：大津市〇〇〇〇〇〇 工期：〇ヵ月		
番号	大項目	中項目	小項目	評価基準	提案内容	提案書掲載ページ	
1	共通特筆	整備に関する特段の要件	整備方針	事業を行なう場所が募集要領や本市の状況に沿った計画及び立地である	大津圏域で特に需要の高い共同生活援助事業であり、募集要領に沿って計画している。	POO	
2			施設の必要性	障害者とその保護者が求める施設である	グループホームの入居希望者は、慢性的に待機状態であり障害者及びその家族の需要は高い。	POO	
3			整備位置	同種の施設の市全体の配置バランスは良く、利便性が良い	グループホームが近隣にもあるが、電車やバスの利便性がよく、利用者及び家族の利便性が良い。	POO	
4	運営の適格性	運営方針	整備運営の動機	障害福祉事業を行なう目的が適正且つ明確である	質の高いサービスを提供することで社会に対して貢献し、障害のある人とその家族の福祉の増進を図ることを目的としている。	POO	
5			整備運営の理念	具体的な運営方針と計画を持っている	日常生活及び社会生活の支援をととして、利用者の自立の一助となる。	POO	
6		運営内容	運営の適正	障害福祉事業の運営経験が十分であり、適正な事業運営が可能である	現在、同規模のグループホームを大津市内で2件運営しており、そのノウハウを活かして事業を展開する。	POO	
7			運営内容の質	障害者への理解があり、手厚い支援が可能である	有資格者を職員として配置し、手厚い介助等が可能となる。	POO	
8		運営状況	法令順守	指導監査の結果及び指摘事項の改善がされている	既存運営施設において、未改善の文書指摘はない。	POO	
9			関係者連携の整備	具体的に家族、地域及び行政との連携を考慮している	家族との連絡用の冊子を作成する。地域行事や自治会活動には積極的に参加する。行政とも密に連携し、自立支援協議会に参加し情報共有に努める。	POO	
10		人員体制	従業員の雇用・資質向上	雇用の確保と支援の質の向上の取組みが示されている	福利厚生を整備を行なうとともにキャリアパス要件を整備し、処遇の改善に努める。	POO	
11			施設長予定者の経験	管理者等の予定者がおり、経験年数と障害福祉の知識は十分である	管理者は法人内で経験豊富な職員を充てることを予定している。（経験年数、資格、その他）	POO	
12		施設の状況	整備計画	整備工程の適正	無理ない工程で、十分な体制を示している	設計工期で6ヵ月を予定しており、当該年度で工事を完了できる計画である。	POO
13			用地内容	用地確保	用地は確保されている、または用途がたっている	用地はすでに取得しており、現在開発許可の手続きを進めているところである。住宅地であり、利用者の家族や地域住民との交流の機会も確保できる。	POO
14			建築内容	建物の規模	相当の面積及び個室を整備している	居室面積は収納設備等を除き、各室で指定基準である7.43㎡以上を満たしており、ゆったりした空間づくりを行なっている。	POO
15	建物の構造			安全面や衛生面を重視した構造である	床面はクッションフロア仕上げとし、安全面に配慮している。また衛生面については抗菌・防汚素材を使用するように努めている。	POO	
16	その他		整備上の配慮	防犯上の対策や周辺環境に配慮されている	主要な入り口には防犯カメラを設置し、前庭は植栽をすることで双方に配慮している。	POO	
17		近隣住民の理解	近隣住民に十分な説明を行い、要望には真摯に対応できる	〇月〇日に自治会長と面談し、住民説明会を実施予定である。要望については、真摯に対応していく。	POO		
18	法人の経理	資金計画	計画の適正	無理の無い資金計画で、償還計画も適正である	収支計画及び償還計画のとおり、余裕を持った計画としている。	POO	
19		経営の安定	財務諸表の適正	連続した債務超過がなく、自己資金が十分である	連続した債務超過はなく、自己資金を確保している。	POO	
20	事業内容	事業計画	妥当性	市内で不足している社会資源の整備である	強度行動障害を呈する重度の知的障害者に対応した共同生活援助事業である。	POO	
21			受入れ枠	新規の受入れ枠が多く確保されている	今回の整備により、新たに〇名の受入れ枠が確保される。	POO	